

一般会計の概要

町では、年度始めに1年間の町に入ってくるお金(歳入)と1年間町民の皆さんのためにどんな事業を行い、どのくらいお金を使うか(歳出)を決めます。これを当初予算といい、必要に応じて予算を増減して補正することを補正予算と呼んでいます。この予算に基づいて、実際にお金が入り出したものが決算となります。

昭和62年度の当初予算は前年度に対して5.3%減でスタートしました。その後の補正により最終的な一般会計の決算額は、入ったお金(歳入)27億537万6000円、出たお金(歳出)26億5591万6000円で差し引き4,946万円の黒字となり翌年度に繰越されました。また、この決算額は前年度に比べ、歳入で8.3%、歳出で8.1%のそれぞれ増となりました。



町づくり 27億円を

出たお金
(歳出)
26億5591万6千円
1人あたり
253,234円

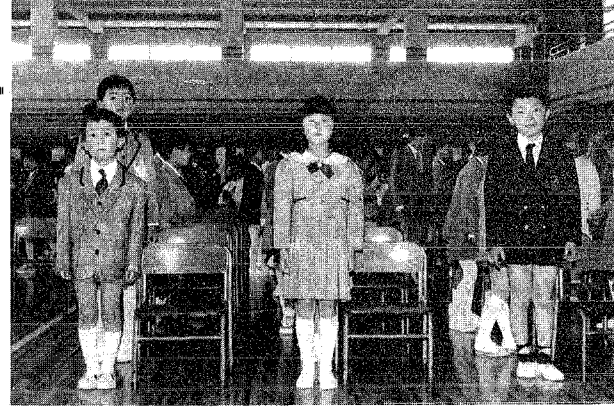
♥=10,000円

人づくりに 使いました。

—小須戸町の家計簿—

入ったお金
(歳入)
27億537万6千円
1人あたり
257,950円

♥ = 10,000円
人口 10,488人
世帯数 2,522戸
(63.3.31現在)



昭和六十二年年度の決算を公表します。昭和六十二年四月一日から昭和六十三年三月三十一日までの一年間、町に入ってきたお金が、今年も分り易くするために、一人あたりの数字におきかえてみました。町づくり、人づくりにどのようにお金が使われたのかをご覧ください。

出たお金(歳出) 〈目的別〉

出たお金(歳出)を見てみると、目的別では前年度同様、山の手運動広場建設事業、小須戸小学校プール建設事業のあった教育費が全体の28.5%、7億5609万7000円でトップでした。次に町の道路の舗装や改良、都庁街路、住宅、除雪などの土木費が3億6026万4000円で13.6%、続いては、総務費が3億2549万2000円、12.2%で、前年度より8162万2000円の増となりました。これは将来のことも考えて、財政調整基金や、減価基金などに積立を行ったことなどによるためです。以下、公債費、2億9553万1000円、農林水産業費2億9134万4000円、民生費2億5715万1000円でした。

町民1人あたりに使われた費用は25万3234円で、皆さんが納められた税金の約4倍になります。一世帯あたりでは、105万3099円使われたこととなります。

教育費	♥♥♥♥♥♥♥♥	72,092円(28.5%)	小・中学校、幼稚園にかかる経費及び社会教育費
土木費	♥♥♥♥	34,350円(13.6%)	道路や水路整備事業、住宅除雪にかかる経費
総務費	♥♥♥♥	31,035円(12.2%)	総務管理費、税務、戸籍などの経費
公債費	♥♥♥♥	28,178円(11.1%)	町の借金の返済金
農林水産業費	♥♥♥♥	27,779円(11.0%)	農業振興及び農道林道などの整備事業
民生費	♥♥♥♥	24,518円(9.7%)	社会福祉、老人福祉及び保育所にかかる経費
衛生費	♥♥♥♥	10,616円(4.2%)	各種検診及び白根衛生センターへの負担金
消防費	♥♥♥♥	9,838円(3.9%)	白根地区消防事務組合への負担金や消防団の経費など
商工費	♥♥♥♥	8,611円(3.4%)	産業育成資金、中小企業育成資金や商工業振興のための補助金など
議会費	♥♥♥♥	5,635円(2.2%)	議会の運営に関する経費
その他	♥♥♥♥	582円(0.2%)	新潟県労働金庫預託金など

地方交付税	♥♥♥♥♥♥♥♥♥♥	80,248円(31.1%)	町の財政力に応じて国から交付されたお金
町税	♥♥♥♥♥♥♥♥	64,464円(25.0%)	皆さんが納めた税金
繰入金	♥♥♥♥	28,141円(10.9%)	基金からの繰入金
諸収入	♥♥♥♥	23,358円(9.1%)	住宅や地方産業育成資金など貸付金の元利収入
町債	♥♥♥♥	20,843円(8.1%)	町の借金で建設事業などをするときに借りましたお金
県支出金	♥♥♥♥	14,171円(5.5%)	事業に対する県からの補助
国庫支出金	♥♥♥♥	8,435円(3.3%)	事業に対する国からの補助
使用料手数料	♥♥♥♥	7,143円(2.8%)	住宅の使用料や保育料、各種証明手数料等
繰越金	♥♥♥♥	3,964円(1.5%)	61年度から繰越されたお金
地方譲与税	♥♥♥♥	2,308円(0.9%)	自動車重量譲与税、地方道路譲与税
その他	♥♥♥♥	4,885円(1.8%)	財産収入など

入ったお金(歳入)

町に入ったお金(歳入)では全体で27億537万6,000円で、その中で町税諸収入、繰入金など、自分の町で確保できるお金(自主財源)は50.4%となりました。地方交付税や国庫支出金、町債などのお金(依存財源)は49.6%となりました。特徴としては、小学校屋内運動場建設事業等の事業が終了したため、国庫支出金や、町債が減となりました。

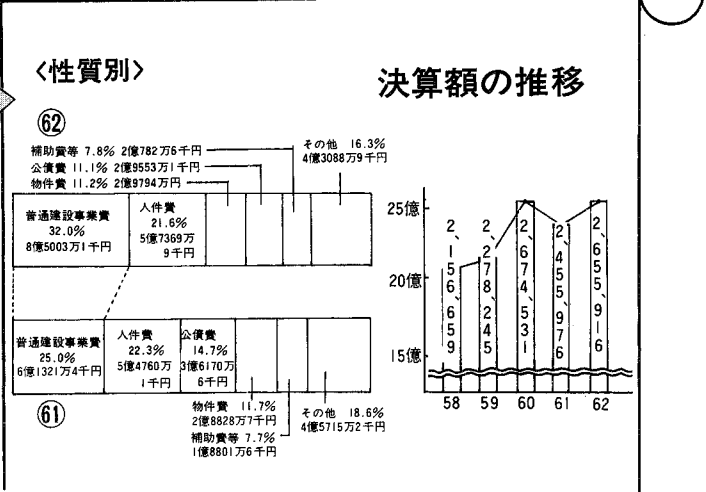
また、山の手運動広場建設基金、及び土地開発基金を繰入れたので、繰入金が増となり、山の手運動広場建設に伴う町債が大きく伸びました。

一人あたりにおきかえてみると、25万7950円入ったこととなります。一世帯あたりでは、107万2711円入ったこととなります。

出たお金〈性質別〉

出たお金(歳出)の性質別を見てみると、普通建設事業費が前年度と比較して38.7%の増となりました。これは、補助事業費は減となったものの、単独事業(補助金を受けず町が独自で行う事業)の山の手運動広場建設事業等の増によるものです。

また、義務的経費(人件費、扶助費、公債費)や繰出金は減となりました。



町税

6億7599万3千円
1人あたり納めた税金
64,454円

- 固定資産税 27,264円 (42.3%)
- 町民税 29,722円 (46.1%)
- たばこ消費税 3,883円 (6.0%)
- 電気税 2,407円 (3.7%)
- 軽自動車税 883円 (1.4%)
- 特別土地保有税 145円 (0.2%)
- ガス税 150円 (0.3%)

町税

皆さんから納めていただいた税金は全体で6億7599万3000円。前年度と比較して4768万9000円、7.6%の増となりました。町民1人あたり6万4454円納めたこととなります。